

# 事務事業評価シート

(H.29)No.	1119	(H.28)No.	1119
-----------	------	-----------	------

事務事業名	公共交通対策事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	都市計画室	田中 康生	

会計区分	事業コード	382001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	公共交通対策事業	
項 土木管理費	(小事業名)	
目 交通対策費	公共交通対策事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	4 魅力的な都市環境づくり
	施 策	3 交通計画
重点プロジェクト		

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
交通不便地域の解消や、交通移動不便者の移動手段の確保を推進し、だれもが不自由なく移動できる持続可能な交通システムの構築を目指します。
事業内容
交通不便地域において、地域コミュニティバス事業等の導入や推進を図るとともに、コミュニティバス「ナッキー号」と「あららぎ号」の運行を行います。また、名張市地域公共交通網形成計画に基づく事業実施、評価等を実施するため、地域公共交通会議を開催します。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	・「ナッキー号」と「あららぎ号」の運行委託 <ナッキー号> 延べ利用者数 47,412人 利用収入 4,061,100円 <あららぎ号> 延べ利用者数 1,823人 利用収入 330,800円 ・地域公共交通会議等の報酬	・「ナッキー号」と「あららぎ号」の運行委託 ・地域公共交通会議等の報酬

  

	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	・「ナッキー号」と「あららぎ号」の運行委託 ・地域公共交通会議等の報酬	・「ナッキー号」と「あららぎ号」の運行委託 ・地域公共交通会議等の報酬	・「ナッキー号」と「あららぎ号」の運行委託 ・地域公共交通会議等の報酬

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		21,216千円		21,772千円	21,772千円	21,772千円	21,772千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他(使用料等)		6,728		4,848	4,848	4,848
	一般財源	0	14,488	0	16,924	16,924	16,924
人工数	職員		0.50人		0.85人	0.85人	0.50人
	臨時職員等				0.05人	0.05人	0.05人
②概算人件費	0千円	3,750千円	0千円	6,460千円	6,460千円	6,460千円	3,835千円
①+②総事業費	0千円	24,966千円	0千円	28,232千円	28,232千円	28,232千円	25,607千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
近年コミュニティバスの利用者は減少傾向にある中で、平成28年度は前年度に比べて利用者数が微増しているものの、平成26年5月から実施している乗車料金の障害者無料化の影響を受けて運賃収入は近年減収となっており、財源確保の検討が急務となっています。平成28年度に策定した「名張市地域公共交通網形成計画」では、利用しやすい公共交通ネットワークの形成、人に優しい公共交通環境の整備、主要バス停における交通結節機能の強化等を基本方針として掲げており、この方針に基づき、各コミュニティバス相互の連携の強化を図るとともに利用しやすい運行形態や情報提供の手法の検討などを進めています。交通空白地・交通不便地においては、市の支援のもと、各地域が主体となり運行協議会等を設立して、コミュニティバスを運行しています。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画 名張市地域コミュニティ交通推進方針 名張市地域公共交通網形成計画
一般財源負担軽減については、受益者負担の観点から料金改定を含めた検討を進めるとともに、財源確保の拡大に向けて、一層の利用促進による運賃確保、協賛金確保等に取り組みます。昨今、相次ぐ高齢運転者による交通事故が多発している状況から、運転に不安を抱える高齢運転者の免許証自主返納が増加が見込まれており、代替移動手段として公共交通網の充実が求められていることから、交通不便地域の解消をはじめ公共交通網の整備、充実を図っていきます。	